

5. 妊娠・出産

(1) 出産した子ども数

問10 あなたは、これまで何人お子さんを生みましたか。人数をご記入ください。

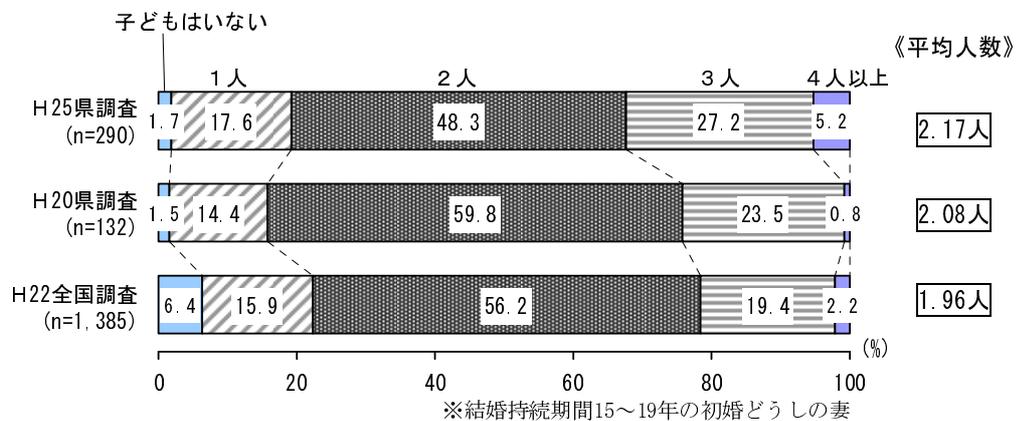
問10-1 あなたがこれまでに出産された、又は妊娠中のお子さんについて、妊娠/出産の時期を記入してください。

夫婦間の最終的な子ども数（全国調査にあわせ結婚持続期間が15～19年の夫婦間の子ども数と定義）をみると、「2人」の割合が48.3%で最も高く、次いで「3人」の割合が27.2%となっている。

前回調査の結果に比べ、「2人」の割合は低下し、「3人」の割合が上昇している。

また、全国調査の結果に比べ「3人」の割合が高く、子どもの平均数は2.17人であり、前回調査及び全国調査の結果に比べ多い。

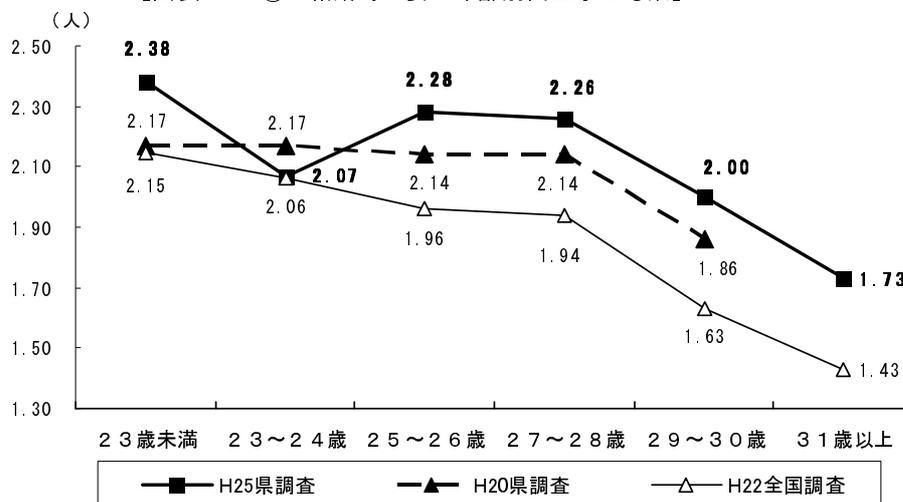
【図表1-5-1① 出産した子ども数】



【結婚時の妻の年齢別】

結婚時の妻の年齢別に出生数をみると、23～24歳が2.07人に落ちているものの、前回並びに全国平均を上回っている。また、結婚時の妻の年齢が上昇すると、出生した子ども数も数が減少している。

【図表1-5-1② 結婚時の妻の年齢別出生子ども数】



※結婚持続期間15～19年の初婚どうしの妻

※n数＝	23歳未満	23～24歳	25～26歳	27～28歳	29～30歳	31歳以上
H25年県調査	39	69	80	62	43	15
前回県調査	12	30432121				
全国調査	218330414	24812953				

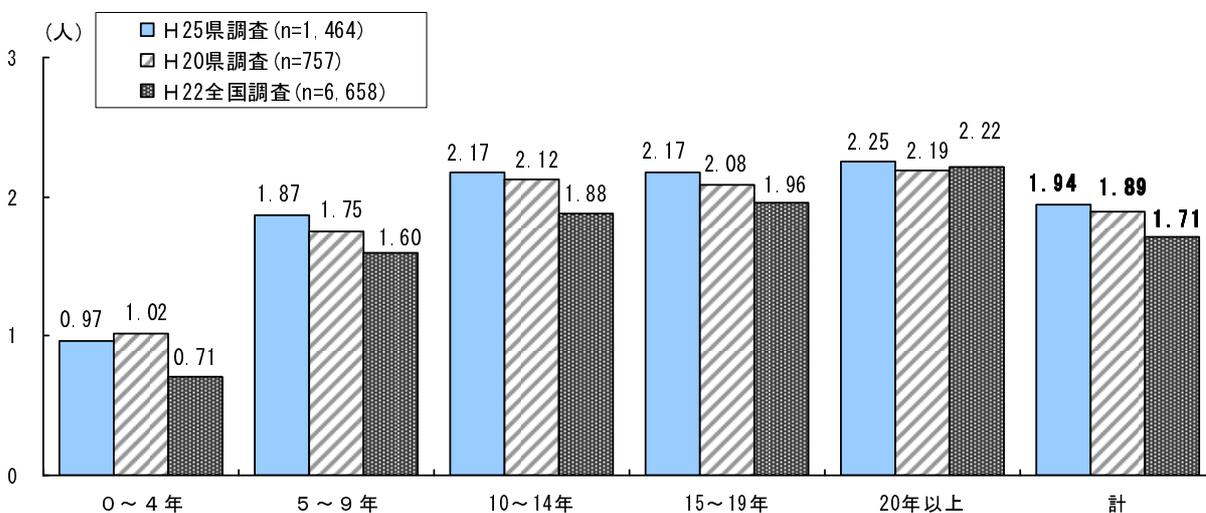
※H20県調査は29歳以降の内訳不明（現状値は29歳以上）

【結婚持続期間別】

初婚どうしの夫婦の間に生まれた子どもの平均人数は1.94人で、前回調査の1.89人から0.05人増加し、全国調査の1.71人に比べ0.23人多い。

結婚持続期間別では、0～4年を除く各期間で前回調査及び全国調査の平均人数を上回っている。

【図表1-5-1③ 結婚持続期間別 出生子ども数】

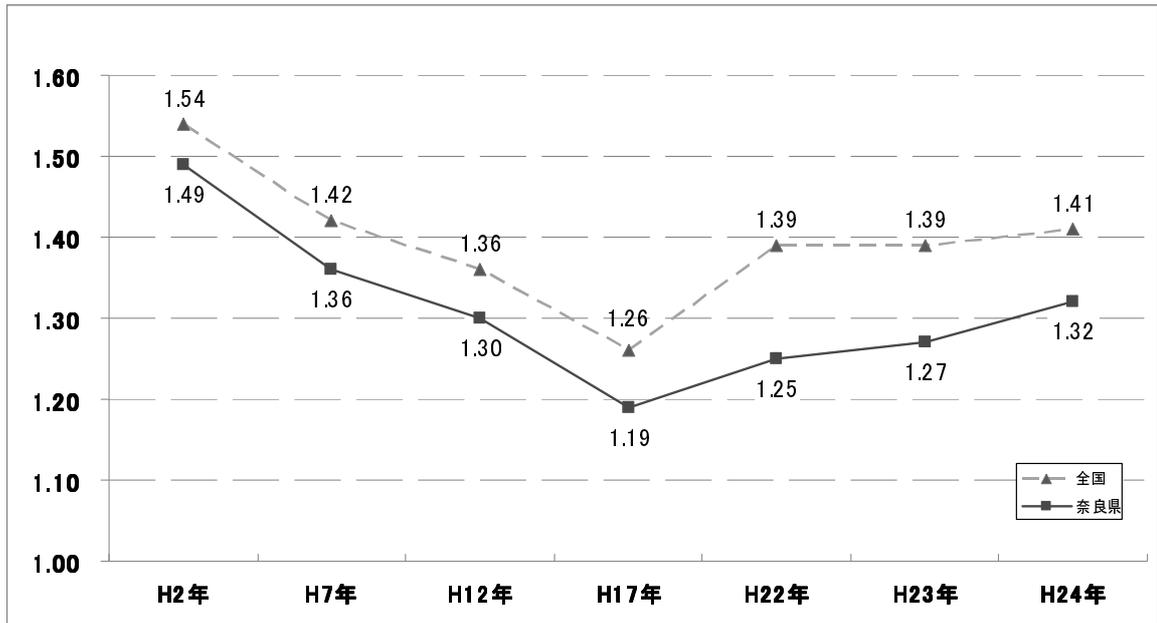


※初婚どうしの夫婦の妻

※無回答及び結婚継続期間不詳を除く

[参考]

■ 合計特殊出生率の推移



出典：人口動態統計（厚生労働省）

(2) 不妊

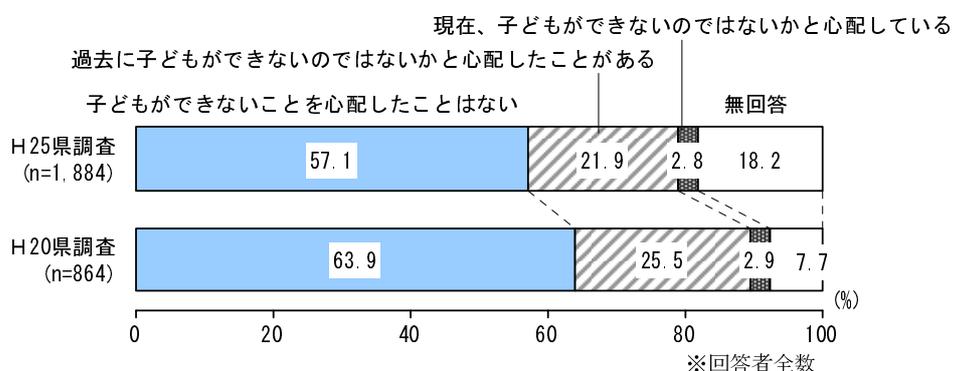
①不妊についての心配

問11 あなた方ご夫婦は、不妊について不安や悩みがありますか。(○は1つ)

「子どもができないことを心配したことはない」の割合が57.1%と半数以上を占めている。

一方、「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」の割合が21.9%、「現在、子どもができないのではないかと心配している」の割合が2.8%となっており、いずれも前回調査の結果に比べ低下しているが、4人に1人が過去に不妊を心配した、または、現在不妊を心配している。

【図表1-5-2① 不妊についての心配】



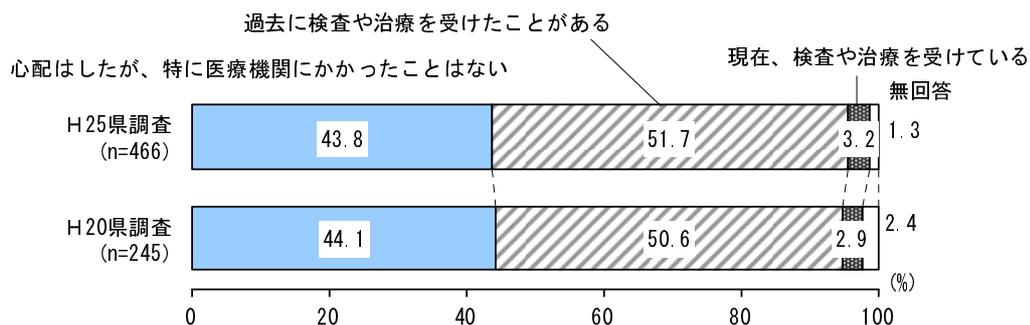
②不妊についての治療経験

問11-1 問11で「2. 過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」または「3. 現在、子どもができないのではないかと心配している」と回答した方にうかがいます。

そのとき、医療機関にかかりましたか。(○は1つ)

「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」もしくは「現在、子どもができないのではないかと心配している」のいずれかを回答した人の治療については、「現在、検査や治療を受けている」の割合は3.2%で、「過去に検査や治療を受けたことがある」の割合の51.7%を合わせると、治療経験のある割合が54.9%となっており、半数程度の人は医療機関を受診している。

【図表1-5-2② 不妊についての治療経験】

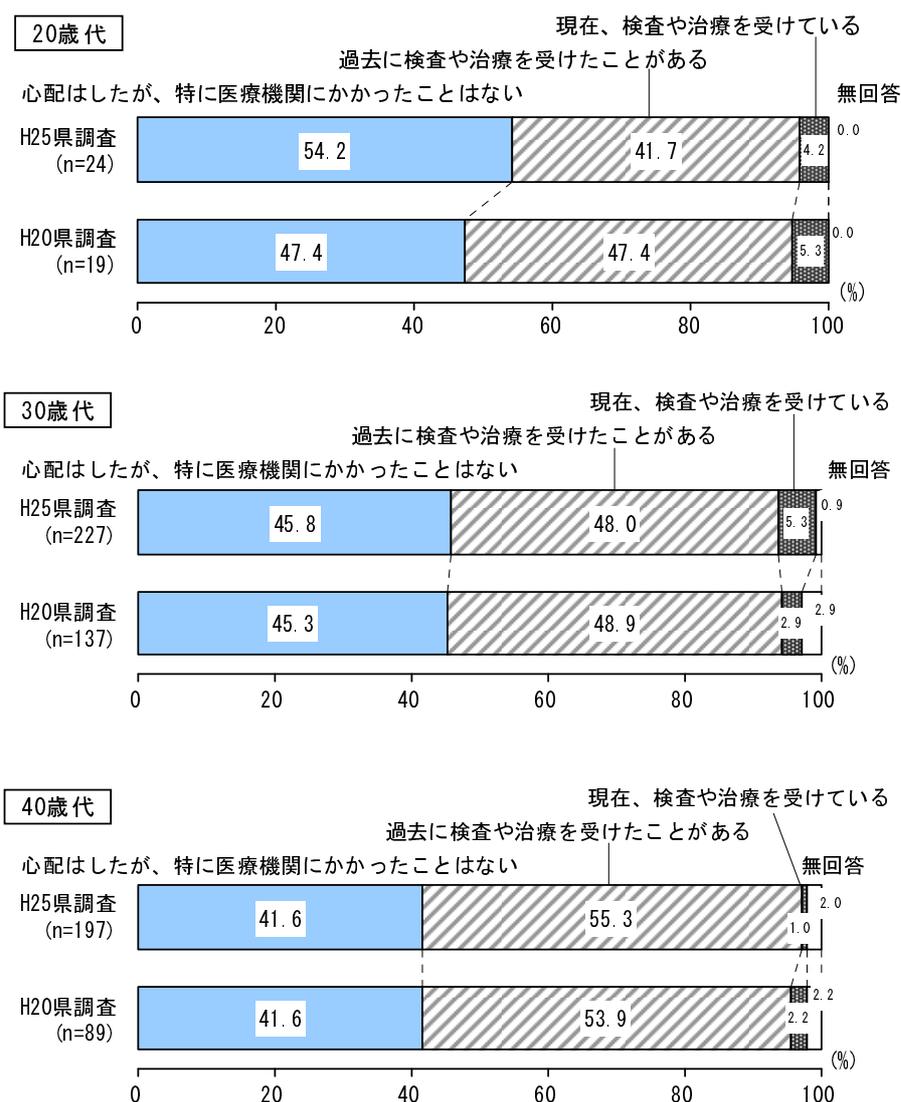


※「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」及び「現在、子どもができないのではないかと心配している」の回答者

【妻の年齢別】

「現在、検査や治療を受けている」の割合は、20・30歳代が4～5%、40歳代では1.0%と少ない。「過去に検査や治療を受けたことがある」の割合は40歳代（55.3%）が最も高く、20歳代が41.7%で最も低い。前回調査から5.7ポイント低下し、「心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない」が6.8ポイント上昇している。一方、30歳代・40歳代の「過去に検査や治療を受けたことがある」「心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない」の各割合には大きな変化はない。

【図表1-5-2③ 妻の年齢別 不妊についての治療経験】



※現在不妊を心配している、または過去に心配したことがある夫婦の妻

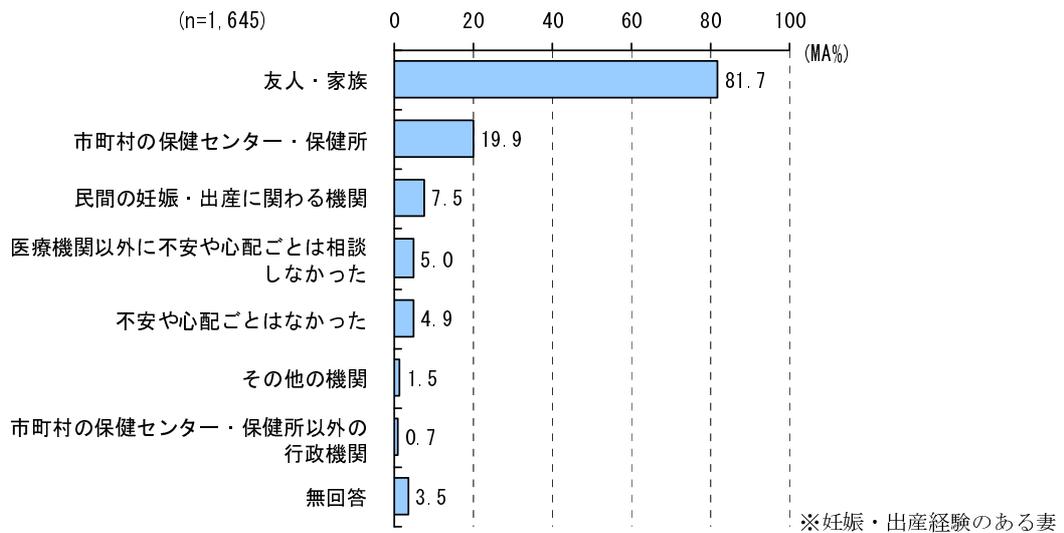
(3) 妊娠・出産に関する相談先

妊娠・出産経験のある方にうかがいます。

問12 医療機関（助産所を含む）以外で、あなたの妊娠・出産についての不安や心配ごとの身近な相談先はどちらですか。（〇はあてはまるものすべて）

妊娠・出産に関する不安や心配ごとについて、医療機関以外の相談先としては、「友人・家族」が81.7%で最も多く、これに次いで「市町村の保健センター・保健所」の19.9%となっている。

【図表1-5-3 妊娠・出産に関する不安や心配ごとの医療機関以外の相談先】（複数回答）



[参考]

